

作業学習

「作業学習」は、作業活動を学習の中心にしながら、生徒の働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を総合的に学習するものです。

本校中学部では、『木工』『農業』『食品製造・クラフト』を単一学級の生徒が行っています。

平成23年に
ここに祭で
展示しまし
た。



「木工」では、前期は共同作品を作りました。1枚の絵を35のパーツに分け、各自釘打ちをしました。作業を根気強く行うことができました。その後、バーナーで焼いて、磨いて、真鍮の釘を際立たせるようにしました。

その時間の作業が終わると、指導者に「できました。」と見せる取組をしました。

授業の最後には、掃除や片付けをみんなで協力して行います。

将来の就労に向けて、学習を繰り返し行っています。

「農業」では、自分たちで農具を使い、畝を作り、苗や種を植え、収穫加工を行っています。これまでにサツマイモやミニトマト、大根や蕎麦などたくさんの作物を育てました。冬には、収穫した蕎麦の実を使い、石臼でそば粉にし、そば打ちにも挑戦しました。



「食品製造」では、簡単なお菓子作りや畑で採れた野菜を使っての調理をしています。自分たちで作ることによって“食”に対する関心も深まってきたようです。

「クラフト」では、オリジナルの図案を刺繍した袋を作りました。みんなとても集中して作業しました。リサイクルの視点から、牛乳パックを使った小物作りにも挑戦しています。



春、よもぎどら焼き
を作りました

